

2013 年 9 月 17 日

各 位

会 社 名 東京センチュリーリース株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 浅 田 俊 一
(コード番号 8439 東証 1 部)
問 合 せ 先 広 報 I R 室 長 松 原 健 志
(T E L 03-5209-6710)

京セラ TCL ソーラー合同会社による「大分・宇佐メガソーラー発電所」の運転開始について

東京センチュリーリース株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:浅田俊一、以下「TCL」と)と京セラ株式会社(本社:京都府京都市、代表取締役社長:山口悟郎、以下「京セラ」)の共同出資により、昨年 8 月に設立した京セラ TCL ソーラー合同会社(以下「京セラ TCL ソーラー」)が、9 月 13 日に大分・宇佐メガソーラー発電所の運転を開始いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 発 電 所 名 : 大分・宇佐メガソーラー発電所
2. 発 電 事 業 者 : 京セラ TCL ソーラー
3. 事 業 用 地 : 京セラ TCL ソーラーが宇佐市より借受
4. 運 転 開 始 日 : 2013 年 9 月 13 日
5. 公 称 最 大 出 力 : 約 2.0 メガワット
6. 定 格 出 力 : 約 1.5 メガワット(一般家庭約 500 世帯分 ※)
7. 売 電 先 : 九州電力㈱へ全量売却
8. そ の 他 : 見学用の施設を設置(環境教育の一環として太陽光発電への理解を深めるため)

京セラ TCL ソーラーでは、7 月に第一号発電所として香川・生島メガソーラー発電所(2.4 メガワット)、9 月には福岡・田川第 1 メガソーラー発電所(1.8 メガワット)および同第 2 メガソーラー発電所(1.3 メガワット)の運転を開始しており、今回の大分・宇佐メガソーラー発電所を加えて 4 ヶ所のメガソーラー発電所を稼働させております。さらに、今年度運転を開始するメガソーラー発電所は、稼働済みを含め全国で 11 ヶ所(九州地域:5 件、中・四国地域:4 件、その他:2 件)、合計 21.6 メガワットとなる予定です。

また、京セラ TCL ソーラーは、今後 2 メガワット未満の高圧案件に加えて、2 メガワット以上の特別高圧案件も積極的に取り組む方針としており、2014 年度末までに合計 25 ヶ所(60~70 メガワット)程度の発電事業を見込んでおります。これは一般家庭約 2 万世帯分(※)の年間消費量に相当します。

TCL と京セラは本事業を通じ、再生可能エネルギーの普及・促進に資するとともに、地球環境保全ならびに循環型社会の形成に引き続き貢献してまいります。

※ 1 世帯あたり 3,500kWh/年で算出

大分・宇佐メガソーラー発電所



見学用の施設



以上